

パブリックコメント実施結果及び仙台市議会における主な意見等

1 パブリックコメント実施結果

仙台市地域防災計画修正案を市ホームページにて公表するとともに、市政情報センター、区情報センター、各区役所総合案内、総合支所で閲覧及び配布を行い、下記のとおり意見公募を行った。

- (1) 意見提出方法 : 郵送、ファクシミリ、電子メール
- (2) 意見公募期間 : 平成30年1月22日～平成30年2月19日
- (3) 意見提出数 : 0件(0人)

2 仙台市議会における主な意見等

仙台市防災会議の開催に先立ち、仙台市議会総務財政委員会（平成30年1月19日開催）において、仙台市地域防災計画修正案の説明を実施した。その際、仙台市議会議員から寄せられた主な意見及び本市の考えは以下のとおりである。

分類	主な意見等	本市の考え
住民説明会等における意見について	想定最大規模降雨（L2）に関する住民説明会では、どのような指摘や意見があったのか。また、頂いた意見等の反映は行うのか。	主な意見としては、洪水浸水想定区域外への避難や、立ち退き避難が必要な具体的な地域に関するものがあった。 これらの意見等については、地域版避難所運営マニュアルの中に反映していただける事項については、作成・見直し支援を継続的に実施していくとともに、防災タウンページにも、よりわかりやすく掲載していくなどの改善を図る。
L2を踏まえた避難訓練の実施について	L2による洪水浸水想定区域を受けた避難訓練が必要と感じるが、検討を行っているか。	まずは地域におけるリスクをご理解いただくことが重要であると考え、地域版避難所運営マニュアルの作成・見直し支援を実施している。 今後、各地域で訓練を実施する際には、地域特性に応じ、迅速・的確に避難行動が取れる、より実践的な訓練になるように支援していく。

分類	主な意見等	本市の考え
原子力災害対策における屋内退避	妊婦や子供だけでも、放射線を遮蔽できる指定避難所を活用すべきではないか。	<p>屋内退避については、自宅等への退避を基本とし、地震等の発生により自宅等への退避が困難な場合には、指定避難所へ退避することとしている。</p> <p>原子力災害単独の場合には、自宅等への退避を基本的な方針と考えているが、指定避難所等の開設のあり方についても、今後検討を進めていく。</p>
学校への安定ヨウ素剤配備	指定避難所である学校に、子供たちの分の安定ヨウ素剤を配備し、医師等の判断に基づいて、市が必要な地域の指定避難所に服用の指示を出すべきではないか。	<p>安定ヨウ素剤の服用については、原子力災害対策指針において、原子力規制委員会が必要性を判断し、国や県の指示に従うこととされている。</p> <p>UPZ外自治体については備蓄が不要とされていることから、まずは国や県が安定ヨウ素剤を配備し、基本的に国や県の判断で服用を指示されるべきと考えている。</p> <p>国や県にUPZ外自治体への安定ヨウ素剤の配備について要望するとともに、他都市の状況など最新の動向を注視していく。</p>
宮城県からの情報伝達	全面緊急事態やその後の情報を宮城県から仙台市に出す流れになっていないため、宮城県の計画を改めて、仙台市も情報伝達に加えるよう求めるべきだがいかがか。	本市としても課題として認識しており、現在、宮城県の地域防災計画に本市を情報伝達先として加えるよう、県に要望している。